

指定管理者総括評価シート

1 施設の概要

施設名称	盛岡市産学官連携研究センター	所在地	盛岡市上田四丁目3番5号
施設の設置目的・概要	企業との共同研究や研究成果の地域還元、高い実績と評価を得ている岩手大学との連携を推進し、市内の企業が抱える技術的課題の解決、新技術の研究開発や新規創業を支援するとともに、新たに研究開発型企業の立地を促進するための施設である。		
建物・設備の概要	建築物の構造：鉄筋コンクリート造3階建 ・事務室74.5㎡ ・会議室156.52㎡ ・研究開発室(オフィス)18室490.43㎡(24.89㎡～42.90㎡) ・研究開発室(実験室)16室470.24㎡(24.89㎡～42.90㎡) ・事業化支援ブース51.25㎡(8ブース)	設置年月日	平成19年8月1日

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	国立大学法人岩手大学	所管課名	ものづくり推進課
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで		
指定管理業務の内容	1 センターの管理・運営に関する業務 2 自主事業の実施 3 その他の業務(広報業務等)	指定管理料(千円)	R2 13,367 千円 R3 13,367 千円 R4 13,367 千円 R5 13,367 千円 R6 13,367 千円
制度導入によって目指す施設の姿	新技術又は新製品を開発しようとする企業等に対して、岩手大学との共同研究を推進し、技術の高度化による産業の振興を図る。		

3 評価結果

総合評価		AA	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			AA	AA	AA	
施設所管部の評価	管理運営方法の検討					
	指定期間中の導入効果及び課題	導入効果 ①指定管理期間中、毎年度指定管理料以上の歳入が確保されており、令和5年度も同様の見込みである。 ②適切な支援により、入居率は年々向上しており、現在は満室に近い状況にある。 課題 ①現在満室に近い入居状況であるが、企業の入居期間の長期化により入替など新陳代謝が進んでいない。 ②入居企業と大学との共同研究による新たな製品開発などの実用化の事例が少ない。				
		■ 指定管理者制度 □ 直営				
	今後の管理運営方法	理由	指定管理料より多くの歳入が確保されており、入居企業への支援も適切であることから、引き続き指定管理者制度を継続する。			

